



...**今月の話題**：熊本地方で激震が発生した。震度7という大きさもさることながら、2度、連続したという現実言葉もない。更に10日以上も断続して揺れている。懸念されていた活断層であることなど発生メカニズムが直ちに説明されたが、最終は未経験の地殻変動だとの感想が報告されることになった。山崩れには人工の工作物はひとたまりもなかった。自然の力の計り知れない大きさと共に、知覚による推断の範囲はごく限られたものだという事にも自覚させられた。残された対策は自助と互助の心構えしかないのか。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎記)

・第3回拡大理事会の開催のため、各部長に報告資料の提出をお願いしております。締切は**5月12日(木)**

○次回拡大理事会：**5月24日(火) 18:00~**

□ 建築部会：(岡本直記)

・先ず、熊本地震の被災者にお見舞いの意を表します。
・「中国の超高層、西安・兵馬俑を訪ねて」をテーマに4月22日(金)寺子屋講座が開催されました。講師は日中交流会出席の安部重孝氏と中野時衛氏。中国から帰国されたばかりの松村先生から最近の中国の建築状況の話もあり、多いに盛り上がりました。参加者13名。安部重孝氏からサーツ水曜サロンに於いて「中国の自然・歴史遺産めぐりについて」をテーマにしたらどうかとの提案もありました。

・3月28日(月)のIPD研修講座は「海外における日本の建築技術の展開」をテーマに開催されました。講師は、竹中工務店国際支店伊藤英俊氏、及び安部重孝氏が担当。伊藤氏から、シンガポールでは建築許可申請時に施工合理化、環境負荷の低減、BIMの活用の3点が評価対象に取り入れられている等、興味深い内容でした。

・4月建築部会での協議事項

1) 出版化を予定している仮題「あなたが知りたいマンション解体新書」の内容検討

2) 建築技術普及センターの平成28年度応募対応

3) 2016年度の建築部会WGの活動方針

・熊本地震の影響か、「あなたが知りたいマンションの耐震性 再改定版第2版」の購入申込が増加しています。

・次回部会では、熊本地震に関して討議予定。

○次回建築部会**5月18日(水)**

建築部会企画WG(原則第1水曜日開催)；休会

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎記)

・熊本地震が起きてから1週間が経過しました。震度7が2回更に震度6強の地震が次々に襲ってくるというような地震は今まで経験していないようなダメージを建物に与えている様子が報道されている。本震が強くても後は余震が徐々に弱くなり終息するという常識が通用しない恐ろしさである。昨日、現地に建設されているツーバイフォー工法住宅の実情を問い合わせたが、交通状況が悪く、現場確認に苦慮していると聞き、未だ地震後の実態把握は時間がかかりそうな状況である。住宅は家族の生命と財産を守る器である。繰り返し襲ってくる強い地震に耐えられるような木質構造住宅は如何にあるべきか？勿論、地盤の問題もあるが…今回の被害の検証と共に、安心して住まうことが出来るよう、今大変なご苦労

をしておられる被災者の方々の健康安全をお祈りし、新たな課題に取り組みねばならないと痛感させられた。

○次回部会予定：**5月12日(木) 18:00~**

ショートスピーチ：加納英範氏「燃える仕組みと避難」

□ 集合住宅部会：(小畑晴治記)

・団地型マンションの再生に関連して、いくつかの管理組合から相談の動きが出てきました。国交省で「大規模団地再生」に条件付ですが、法定再開発事業をできるように位置づける動きも出ているからかもしれません。しかし、利便性の高い駅前立地で現行容積に余裕がある場合(そういった物件はほとんどない)を除いて、採算性が悪い(還元床が大幅に減るか、自己負担額が膨大になる)ことはいうまでもありません。調子の良いコンサルタントに載せられそうになっている管理組合に、適切な助言を行う必要性を痛感しながら、対応しています。

・中層階段室型住棟の昇降装置の開発検討が、いよいよ5月から深尾精一先生を主査にお招きして始まります。

○次回部会予定：**5月10日(火) 18:00~**

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎記)

・今期引合い案件のうち、契約向け3件(豊玉北、大森、鶴沼)の契約書類作成。この3件の受託確定により、期首目標はクリアするが、今後も努力分2件(清瀬、川口超高層)へのフォローをする。なお、4月度で不調となった案件は2件(東品川、登戸)であった。

・H28.3月の部会出席者は4名で出席率20%でした。5月部会は50%以上を期待します。

議題：1. 管理組合支援事業進捗状況報告

2. 部内標準類整備状況報告

検討主題：①M事業部プレゼン資料(担当PM塚部)

②長期修繕計画作成標準(担当PM濱中)

3. 管理組合・管理会社向け「災害時への備えについて(仮題)」啓蒙用パンフ作成の件

○次回部会予定：**5月10日(火) 16:00~18:00**

□ LLB技術研究会(安孫子義彦記)

・LLB技術研究会の公開マルシェ「共同住宅改修“職人技術”実演見学会」は約50人の参加者を得て、3月23日無事終了しました。詳細はサーツ誌並びに建築技術6月号サーツニュースの欄をご覧ください。ご協力ありがとうございました。

□建築技術誌5月号(4月17日発売)サーツ欄掲載記事

・谷口英武：建設業もガラパゴス化？

・金森捷三郎：平成28年度総会報告 18年目建築技術の社会への貢献について再構築する年

□余滴：一人居も楽しと思う臆月かな

捷三郎